

北部地区における中学校統合整備に関する説明会における質疑と回答

平成19年8月2日から10日に実施した北部地区説明会での主な質疑とそれに対する回答は下記のとおりです。

***は、現在の状況。**

記

- ◇中部、南部での説明会の予定は？
→実施の方向で、区長と相談しながら、進めていきます。
- ◇今年度に行う養南中学校と城山中学校の統合に関する条例改正の中に、但し書きとして平成26年4月の南濃中との統合も条例改正に入れられるのか。
→入れる方向で方法を探ります。
***平成26年に南濃中学校も統合する条例に改正しました。**
- ◇南部の方は城山中周辺への統合について反対意見が多い。もう少し理解を得てから実施してはどうか。
→賛成、反対それぞれに意見の意見があります。南部の方々も3校統合には賛成だが、場所を山崎地区にしてほしいとの意見が多くあります。山崎地区は一度話しがこじれた経緯があり、再度、山崎地区で話しを纏めるのは困難であると思われるし、市の財政的にも厳しいので、南部の方々にも城山中周辺での1校統合をお願いしていきます。
- ◇校名はどうするのか。
→新設統合として暫定的ではありますが、2校での新しい校名を検討していきます。養南城山中、城山養南中、城南中などが考えられます。
***関係する児童・生徒及び保護者のアンケートにより城南中学校に決まりました。**
- ◇校名が暫定的（仮名）というのはいかがなものか。
- ◇校名、校章はいつまでに決めるのか。
→3校統合を目標としているので、平成26年の3校統合の際に、正式な新しい中学校の校名、校章等を決めたいと思います。但し、前期計画の統合中学校の校名、校章については、今年度の12月議会を目途としています。
***校章は3月を目途に、校歌は来年度中を目途に策定していきます。**
- ◇校名は、一旦は城山中とし、その後3校統合中学校の名前をしっかりと吟味して決めてはどうか。その分、校旗は二つ掲げたり、校歌はそれぞれの校歌を歌うなどしてはどうか。
→とにかく新設統合ということで、生徒に肩身の狭い思いをしないよう、生徒の意向を汲みながら決めていきます。
- ◇校名、校章のデザイン等の選定方法を具体的に教えてください。
→3校統合時については、公募等を考えています。前期分の2校統合時については、時間的制約もあるので、事務局で案を考え、統合委員会等に図りながら決めていきたいと考えています。
***事務局、関係者にて案を作成し、それに基づきアンケートを実施しました。その結果を十分に加味して統合委員会で協議を進めています。**
- ◇校章、校歌を前期、後期それぞれに決めるのは時間も経費も無駄ではないか。
→校歌については、時間的に前期統合時に新しいものは困難だと思われます。校章については前期統合時に間に合うように最大限努力します。

◇体操服はどうするのか。

→2、3年生に関しては基本的には、現在着用しているものをそのまま使ってもらいように考えていますが、城山中の体操服の着用を希望されるのであれば、支給します。新1年生に関しては、養南中、城山中とも新しい統合のデザインの体操服を購入してもらう予定です。

***新1年生の児童・保護者を対象にアンケートを実施し、新しいデザインの体操服を選定しました。**

◇制服についてはどうか。

→男子は同じなので問題ないと思われませんが、女子については襟の部分で若干の違いがありますので、白襟の着用等で統一を図りたい。一年生については、体操服と同様の考え方で対処していきます。

***両校及びPTAの皆様で協議いただき、2～3年生については現在のものを、新1年生については、城山中学校のものを着用することになりました。**

◇来年度の子ども会育成会やPTAの役員を決めなければならないが。

→子ども会は小学校区が基準なので、中学校についても今のままの組織でお願いします。PTAについては、皆様方にご協力をいただきながら至急をすり合わせ行きます。

◇なぜ3校一斉ではいけないのか。

→現在の城山中では南濃中の生徒まで受け入れるだけの校舎がありません。市の財政的に単年で整備が出来ないだけでなく、来年度からは今まで配慮いただいていた中学校への教員の加配が半分になることが予想され、養南中においては、必要な教員の確保が難しく、子ども達の学習環境への影響が懸念されます。また、養南中学校屋内運動場の老朽化も著しいため2段階に分けた統合となりました。

◇全体としてハッキリしていない部分が多いのではないかと。もう少し時期を遅らせてはどうか。

→今まで何度か説明会を実施してきました。統合に関しての内容が十分に伝わっていない部分があるのは申し訳ありませんが、生徒数の減少や、施設の老朽化、市の財政状況や合併特例債などの条件から、今統合することが望ましいと思われまますので、何卒ご理解をいただきたい。

◇実際に行きたくないと言っている子が多い。

◇子どもの気持ちが沈まないように真剣に子どものことを考えてほしい。

→今まで慣れ親しんだ環境から新しく知らない場所に行くので不安は大きいと思いますが、今後、夏休みの部活動の交流や、合唱交流、合同での乗鞍研修を実施して生徒間の交流を増やしていきます。交流を重ねることにより生徒の不安を無くしていきたいと思えます。

◇在校生の意見はどうか。

→学校にてアンケートを実施していただいたようで、その中で、生徒が不安に思っている点などを確認させていただきました。なるべく不安を解消できるよう行政、学校とも努力していきます。

◇養南中はもちろん、受け入れる側の城山中の生徒にも統合に関して十分説明して、いじめなどの問題が起こらないようケアしてほしい。

→事前に双方の中学校で十分に呼びかけたいと思えます。

◇統合により教諭の数が増えることは分かったが、実際の生徒の心のケアの具体的な対策はどう考えているのか。

- 市費での非常勤講師などで対応しています。今年度は講師の数を増やし、他市町村と比べても充実していると思われます。また、各学校ごとにスクールカウンセラーなどを設置し、生徒の心のケアに努めています。
- ◇海津町でも小人数の小学校と大人数の小学校とが一つの中学校になっているが問題は起こっていないか。
→中学校1年生のクラス分けで、小人数の小学校から来た生徒に関して、あまりバラバラにならないように配慮しています。
- ◇通学路は3月までに完成するのか。
→お示しした部分については、完成します。この他要望があれば可能な限り随時改修していきます。
- ◇円満寺前の国道の歩道の清掃は今後どこで対応するのか。
→県道であるため、基本的には岐阜県へ要望して行きますが、必要があれば、海津市、PTA、地域ボランティアにもご協力をお願いしたい。
- ◇勢濃工業の前の県道が車道より歩道の方が低くなっており、雨が降ると水が流れ込むのでなんとかならないか。
→雨の日に少しでも車の水跳ねの影響を防ぐよう岐阜県に、車歩道境界にガードパイプかガードレールを設置してもらうよう要望しています。
***ガードレールを設置します。**
- ◇勢濃工業の前の県道はダンプカーの通行量も多く危険であるため、対応を考えてもらいたい。
→通学時間帯はなるべくダンプカーの通行を避けてもらうよう勢濃工業と協議したいと思います。
- ◇通学助成を3年で見直しというのは、南濃町だけの話か。
→海津市全体で見直します。
- ◇文化系の部活動を充実させてほしい。
→生徒数が増えることにより部活動の選択肢も増えると考えています。学校長の意向もありますが、生徒がやりたいという要望が強ければ、文化系の部活動数も増えてくると思われます。
- ◇用地の確約は取れているのか。
→平成16年当時に、影響が出ると思われる地権者に話しはしており、絶対に反対という言われる方は見えなかった。
- ◇養南中の閉校についてきちんと情報公開してほしい。
→ホームページ等でお知らせします。
- ◇今回の3中学校の統合は新設統合なのか。
→新設統合です。今後の中部、南部での説明会でも十分説明していきます。
- ◇新設統合であるならば、養南中学校だけでなく、城山中学校も閉校になるので閉校式を実施すべきではないか。
→新設統合という認識は中部地区の説明会でもお話したい。閉校式を実施するかは、学校や卒業生が決めるべき問題だと思われます。

中部地区における中学校統合整備に関する説明会での質疑と回答

平成19年8月29日から12月5日に実施した中部地区説明会での主な質疑とそれに対する回答は下記のとおりです。

***は現在の状況。**

記

- ◎徳田のムネカタ（株）岐阜工場前の高架下は、幅員も狭く視界も悪いので対処してほしい。
→道路や高架下の幅員を拡張することは困難ですので、ムネカタに対して関係車両の安全運転を呼びかけていきたいと考えています。
- ◎駒野駅から県道へ抜ける通学路において、踏切がガタガタになっているし、民地の草等が道路に広がって通行の妨げになっているので何とかならないか。
→踏切は、養老鉄道に要望していきます。民地の草等については、地権者に責任を持って処理していただけるよう、市や自治会から呼びかけたいので、協力をお願いします。
- ◎校名・校歌・校章については、前期統合と後期統合のそれぞれに新しく決めるのは、事務的にも経済的にも効率的でない。前期統合の際に、後期統合も見越したものを作成してはどうか。
- ◎前期統合の際は、いまのまま城山中学校でどうか。
→今回の統合は吸収統合ではなく新設統合でありますので、双方の学校に公平性を保つため、学校名は変更したいと思います。その中で前期統合に向けては時間的制約があり、市教育委員会事務局が中心となり、統合委員会に図りながら、最終的には教育委員会にて決めていくことになると思われます。また後期統合においては、公募等幅広い意見を聴取して決めたいと考えておりますのでご理解をお願いします。
- ◎女子全員の制服の襟の部分に白襟を付けるとの説明だったが、養南中学校の女子生徒に城山中学校の制服を公費で購入してはどうか。
→今回の統合は吸収統合ではなく新設統合であり、また、2～3年生が白襟を付ければ、全学年が統一した制服を着用することが可能であることから、現在の制服に白襟の着用をお願いします。尚、来年度の城山中学校の2～3年生の女子生徒には、白襟を公費で支給したいと考えています。
***両校及びPTAの皆様で協議いただき、2～3年生については現在のものを、新1年生については、城山中学校のものを着用することになりました。**
- ◎資料にある譲れる部分と譲れない部分を具体的に教えてほしい。
→基本方針は譲れない部分であり、それを基本線としてその他の部分を肉付けしていく形です。校名やジャージについては、今後みなさんの意見を伺いながら進めたいと思います。
***校名は城南中学校となりました。ジャージについては、新1年生の児童・保護者にアンケートを実施し、新しいデザインを選定しました。**
- ◎3校統合は決定か。南濃町だけでなく市全体として再検討してはどうか。
→南濃町時代の1校統合案を引継ぎ、海津市教育委員会として、海津市の中学校の適正配置を若年層人口や施設の老朽化などから考察し、方針を決定したものです。
- ◎新中学校の用地について、現在はどのような状況か教えてほしい。
→平成16年度にお声掛けしたのは影響の出る可能性のあるすべての地権者であり、

今回の計画で実際に購入するのは、お声掛けした方の中の一部の方となる予定です。尚、今年度中に不動産鑑定を行い、地権者の方には年度内にはお話に伺う予定をしておりますのでご協力をお願いします。

***購入を予定している用地の地権者の皆様には、平成20年1月説明会を開催させていただきました。今後の予定は、3月までに不動産鑑定を実施し、平成20年度には用地測量を実施していく予定です。**

◎特に南部の方で反対意見も多いが、それでも統合するのか。

→それぞれに色々ご意見はありますが、説明会等を開きながら何とか理解を得て進めていきたいと思っております。

2月に実施した中学校統合に関する説明会での主な質疑回答

・北部地区（2月5日実施）

- ◎今年度の養南中学校の1～2年生には、現在の城山中学校のジャージ等が支給されると説明があったが、年下の兄弟がいるので、出来れば城南中学校の新しいデザインのジャージを支給して欲しい。
 - 当初は、なるべく保護者に経済的負担を掛けないように、現在の1～2年生の生徒に関しては、両校とも現在のジャージをそのまま使っていただく予定でした。しかし、月の説明会の折に、「それでは、クラスで少数の養南中出身の生徒が肩身の狭い思いをするので、早く溶け込めるように城山中のジャージを支給してほしい。」との要望を頂きました。その後検討を進め、現在の養南中学校の生徒には城山中ジャージ体操服等を1着ずつ支給し、養南中のものと城山中のものどちらを使用してもよいとしました。城南中学校のジャージ等を支給することは、当初いただいた要望の趣旨から外れることとなりますので、城山中のジャージ等を支給することをご理解ください。
- ◎子どもの通学を考えると、街路灯の増設が必要ではないか。また、電車の踏切を渡るために東側の道路に横断歩道が必要ではないか。
 - 街路灯は現地確認を実施して数機増設しましたが、今後も皆様方が実際に暗いと思われるような箇所があれば区長を通じて要望を挙げていただきたい。また、横断歩道に関しては、歩車道境界等の関係で設置は難しいと思われませんが、必要であれば、踏切西側のように待機場所として歩道の拡張を要望していきたいと思っております。
- ◎定期券の1/3を助成とあるが、回数券では駄目か。
 - 回数券は不確定な要素が多いので定期券のみでお願いします。
- ◎体操服は2着支給してほしい。
 - 養南中の生徒が早く溶け込めるように長袖と半袖を1着ずつ支給させていただくものです。養南中のものを着用しても構いませんので、1着ずつでご活用ください。

・中部地区（2月7日実施）

- ◎校名のアンケート結果の詳細を教えてください。
 - 来年度の城南中学校の1～3年生の生徒・保護者を対象にアンケートを実施しました。対象は498名で、回答があったのは417名で回答率は83.7%でした。その内訳は「城南」が259票で全体の62.1%、「城山」が61票で14.6%、「城山養南」が28票で6.7%、「養南城山」と「海南」が9票で2.2%、「南城」が5票で1.2%でした。その他の校名の案も多数いただきました。
- ◎生徒数が増えるが、部活動の数は増えるのか。
 - 既存の部活動との兼ね合いもあるが、現在、剣道部の設立を検討し、生徒にアンケート等を実施している。また、文化系の部活動も増えるのではと考えている。